

A64～70 福山市における栄養摂取状況等に関する意識と実態 (第1報～第7報)

福山市立女子短家政 ①鈴木雅子 ②奥山清美 ③加納三千子  
④津川 淳 ⑤三谷璋子 ⑥倉田美恵 ⑦土屋房江

目的 福山市における主婦および児童・生徒の栄養摂取状況、健康状況の実態と社会意識、食品添加物、合成洗剤等の安全性に対する意識を明らかにし、これらが相互に、また、地域性や階層にどのように影響されているかを社会調査によって明らかにしていく。

方法 福山市を大きく4地域に分類し、それぞれの地域における代表的な小学校区内の全世帯を母集団とするサンプリングで、婦人会々員の主婦を調査対象とし、調査は質問紙法により、各小学校区別の婦人会ごとに配布し、回収した。集計・計算は全てコンピューターでおこなひ、今回の発表はクロス集計による結果を分析する。

結果 (現在分析中である)

この第1報においては、まず、年齢別(年代別)に社会意識、食品添加物及び合成洗剤等の安全性に対する意識を分析する。

結果 (現在分析中である)

第2報においては、収入(家族の総収入)別に分析する。

結果 (現在分析中である) 第3報においては、職業(夫)別に分析する。